

第 8 回

全日本実業団剣道大会



(大山祇神社) 赤糸威鎧

主 催 全 日 本 実 業 団 剣 道 連 盟
後 援 朝 日 本 新 聞 社
主 管 全 日 本 剣 道 連 盟
主 管 全 日 本 剣 道 連 盟
主 管 全 日 本 剣 道 連 盟

と き 昭和40年11月14日 午前 9 時30分 と ころ 東京・日本武道館

大会次第

☆開会式.....九・三〇(一〇・一〇)

- 1 役員・選手入場
- 2 開式の辞
- 3 国旗掲揚
- 4 優勝旗・総理大臣杯の返還
- 5 レプリカの贈呈
- 6 大会々長挨拶
- 7 来賓祝辞
- 8 審判長の注意
- 9 選手代表の宣誓
- 10 役員・選手着席
- 11 日本剣道形
- 12 選手退場

☆団体試合

一回戦から四回戦迄(4試合場).....一〇・二〇(一三・二〇)

☆道友手合せ.....一四・〇〇(一五・二〇)

☆団体試合

準決勝戦・決勝戦.....一五・三〇(一六・三〇)

※運営時間の都合により公開演技・模範手合せ等を適宜な時に行なう

☆閉会式.....一六・四〇(一七・〇〇)

- 1 役員選手整列
- 2 成績発表
- 3 表彰
- 4 大会副会長挨拶
- 5 国旗降納
- 6 閉式の辞
- 7 退場

わたくしたちのプライド スクエア・マーク

スクエア・マークそう呼びください
トッパンの新しいマーク、印刷界のシンボルです。これからもこのマークが印刷界をリードし、皆さまの暮らしのすみずみまで印刷技術を役だたせるために働きます。

TOPPAN

凸版印刷株式会社

○本社／東京都台東区台東1-5 (851) 8111 大代表 ○
サービスセンター／東京都中央区銀座5-5 (572) 3341
代表 ○工場・営業所／札幌・仙台・東京(下谷・板橋・小石川・本所・朝霞)・名古屋・大阪(大淀・福島・伊丹)・広島・小倉・福岡・玉名

挨拶

全日本実業団剣道連盟

会長

夫木 了



第八回全日本実業団剣道大会を皆様の御援助により、斯くの如く盛大に開催することが出来ましたことを主催者として厚く御礼申しあげます。

今回の大会には他の大会とは異った実業団らしい企画を……と考えまして、多少新しい試みを加えましたことをご報告いたします。

鳥濤がましいことながら、私は平素から剣道の修行を「技の稽古」と「心の稽古」に分けて、平たく云えば前者は予科、後者は本科とでもいうべきものと考えております。剣道を学ぶ以上、その目的を心の修行に置くことは当然であり、殊に社会人として活動する実業人にとっては心の剣を学んで、剣が人格化された「人間」に自らを仕あげる事が最も肝要なことであります。

技の稽古を積むことによって、やがて心の稽古の緒口が開け初めるのは中年以後でありましょうが、実業人たるものは、そこから本格的な剣を身につける修行に入るべきであります。

竹刀も刀も不要であります。人に接しても、仕事に当たっても、世間に立っても、家に在っても、行住座臥、身辺に起ることは悉く剣道であり、

道場に立っているのと同じ心境で心の稽古が出来るのであります。

この様に、竹刀を握る時だけが剣道ではないことを充分悟り得る境地に達した同志を一率に「道友」と呼ぶことに致したのであります。

○ 今日剣道は日を逐って盛んになって来て居りますが、一般的に他のスポーツ同様スポーツ的に取扱われる傾向にあって、あらゆる試合が悉く技本位、点数本位の勝負のみを対象として居るため、興味本位のスポーツとしての普及は行われるかも知れませんが、人格化された剣の手合せなり、人間と人間との対決と云うような、古来日本剣道が到達していた美しい、正しい剣というものを見る機会もなければ、示す機会もないことは、剣道の真髄を伝えるためには甚だ遺憾な現状であります。従って今回より、我が実業団の大会においては、従来の団体対抗試合の他に、道友の手合せを加えて、得点や勝負にこだわることなく、日頃の修業によって練磨されて人格化された剣を十二分に示し合って、人間と人間との手合せの美しさを見せられる機会を作った次第であります。そして、これこそが実業人の剣道の真の姿であることを、演武者も悟り、観覧者も認識して欲しいと思う次第であります。

新しい日本において、今後日本剣道を国民の人間をつくる為に用いようというのなら、心の稽古に主眼を置かなければ無意味であります。幸に実業団の大会において、その姿を世人に見せることが出来るならば、祖先の苦心に対してもいささか報いることになるのではなからうかと思えます。ただし何分にも新しい試みのこと故、今後皆様の御意見によって更によいやり方に出来まよう御援助の程、お願い申し上げます。

御挨拶を終るに当り、毎回厚い御援助を頂いて居ります全日本剣道連盟、東京都剣道連盟、並びに朝日新聞社に対し心からの感謝を捧げ、併せて、審判の諸先生、大会運営委員各位の一方ならぬ御労苦に對し、有難く御礼申し上げます。

大会役員

【順不同・敬称略】

名誉顧問

内閣総理大臣 佐藤 栄作
通商産業大臣 三木 武夫
日本武道館会長 正力 松太郎
全日本剣道連盟会長 木村 篤太郎
全日本学生剣道連盟会長 笹森 順造
官公庁剣道連盟会長 赤城 宗徳
朝日新聞社社長 美土路 昌一

大会会長

全日本実業団剣道連盟会長 矢野 一郎
第一生命保険相互会社社長

大会副会長

【関東・中部・近畿・九州地区順】

日本軽金属株式会社 社長 安田 幾久男
雪印乳業株式会社 社長 佐藤 貢
日本鉱業株式会社 副社長 河合 堯晴
株式会社紀長伸銅 社長 服部 武三郎
蓬萊殖産株式会社 社長 児玉 幸藏
名古屋鉄道株式会社 社長 土川 元夫
株式会社阪急百貨店 社長 野田 孝
日本エクスラン工業株式会社 会長 大谷 一雄
東洋貿易株式会社 会長 和崎 嘉之
小西酒造株式会社 専務 白井 貫二
森下仁丹株式会社 社長 森下 義泰
南海放送株式会社 社長 山中 義貞

大会顧問

【会員関係会社(五十音順)】

大辻炭礦株式会社 常務 小沢 親光
株式会社西日本相互銀行 社長 森 俊雄
九州電力ビル株式会社 副社長 黒木 房斗
朝日新聞社 取締役 長谷川 健一
朝日生命保険相互会社 社長 数納 清
朝日石綿工業株式会社 社長 近藤 進一郎
旭硝子株式会社 社長 森本 貫一
旭化成工業株式会社 社長 宮崎 久太郎
安宅産業株式会社 社長 猪崎 久太郎
味の素株式会社 社長 道面 豊信
亜細亜石油株式会社 社長 川鍋 秋蔵
RKB毎日放送株式会社 社長 金子 秀三
アルプス電機株式会社 社長 先片岡 勝太郎
石川島播磨重工業(株) 社長 田口 連三
伊藤忠商事株式会社 社長 越後 正一
揖斐川電工株式会社 社長 須崎 潔
株式会社百貨店伊勢丹 社長 小菅 乍治
宇部興産株式会社 社長 中安 閑一
川崎製鉄株式会社 社長 西山 弥太郎
川鉄商事株式会社 社長 佐分利 輝一
川鉄建材株式会社 社長 島田 喜一郎
鹿島建設株式会社 社長 鹿島 卯女
河口精密株式会社 社長 横山 英輔
九州電力株式会社 社長 赤羽 善治
九州電力株式会社 副社長 瓦林 清男
九州産業交通株式会社 社長 岡力 男

菊水テーパー製造株式会社 社長 西沢 袈裟人
麒麟麦酒株式会社 社長 川村 首次郎
久保田鉄工株式会社 社長 小田原 大造
倉敷レーヨン株式会社 社長 大原 総一郎
呉造船株式会社 社長 正木 武雄
京阪神急行電鉄(株) 社長 小林 米三
小西酒造株式会社 社長 小西 新右衛門
株式会社神戸製鋼所 社長 外島 健吉
株式会社神戸銀行 頭取 岡崎 忠
江商株式会社 社長 桑原 喜代蔵
株式会社講談社 社長 野間 省一
株式会社シモン 社長 利岡 和人
株式会社島津製作所 社長 鈴木 庸輔
清水建設株式会社 社長 清水 康雄
芳浦精糖株式会社 社長 大波 信夫
(株)四国自動車部品商会 社長 白石 重保
昭和電工株式会社 社長 室賀 国威
昭和冷熱工業株式会社 社長 安西 正夫
住友海上火災保険(株) 社長 溝口 幸好
住友化学工業株式会社 社長 長谷川 周次
住友商事株式会社 社長 津田 周重
住友金属株式会社 社長 日向 久
株式会社鈴江農機製作所 社長 鈴江 三恵
株式会社杉田製線工業 社長 杉田 与次郎
積水化学工業株式会社 社長 上野 次郎男
ゼネラル物産株式会社 社長 中尾 幸雄
ソニー株式会社 社長 井深 大

大成建設株式会社 社長 本間 嘉平
第一生命保険相互会社 社長 矢田 恒久
株式会社高島屋 社長 飯田 新一
高崎製紙株式会社 社長 黒崎 義平
武田薬品工業株式会社 社長 武田 長兵衛
第一証券株式会社 社長 小川 三郎
千代田化工建設株式会社 社長 玉置 明善
千代田化工建設株式会社 常務 室井 正基
塚本総業株式会社 社長 塚本 素山
株式会社電通 社長 日比野 恒次
東洋レーヨン株式会社 社長 森 広三郎
株式会社東横 社長 五島 昇
戸田建設株式会社 社長 戸田 順之助
戸田建設株式会社 専務 石丸 正名
東京芝浦電気株式会社 社長 土光 敏夫
東芝商事株式会社 社長 菅 要助
東京急行電鉄株式会社 社長 五島 昇
東京瓦斯株式会社 社長 本田 弘敏
東部通信工業株式会社 社長 古関 幸平
東京電力株式会社 社長 木川 一隆
東洋高圧工業株式会社 社長 野村 末一
東洋水産株式会社 社長 森 和夫
凸版印刷株式会社 社長 山田 三郎太
トヨタ自動車工業株式会社 社長 中川 不器男
東京日野モーター株式会社 社長 高見 嘉夫
同和火災海上保険株式会社 社長 岡崎 真一
南海電気鉄道株式会社 社長 壺田 修
南光特殊印刷株式会社 社長 市川 嘉一

日本生命保険相互会社 社長 弘世 現
日本通運株式会社 社長 福島 敏行
日本鉱業株式会社 社長 三間 安市
日本鋼管株式会社 社長 河田 重
日本鋼管株式会社 社長 赤坂 武
日本電氣株式会社 社長 小林 宏治
日本火災海上保険(株) 取締役 葛葉 正一
日本火災海上保険(株) 取締役 葛葉 正一
日本銀行 総裁 宇佐美 洵
日本加工製紙株式会社 社長 安牧 得三
日本国民食株式会社 社長 牧野 権一
日本郵船株式会社 社長 児玉 忠康
日本耐酸壘工業株式会社 社長 堤 俊治
日本揮発油株式会社 社長 実吉 雅郎
日本タイアクレバイト(株) 社長 林 又克二
日産自動車株式会社 社長 川 守篤
日興証券株式会社 社長 港 永為貴
日新製糖株式会社 社長 森 永為貴
(株)日本製鋼所広島製作所 社長 柳 武
野村証券株式会社 社長 瀬川 美能留
野田醤油株式会社 社長 茂木 啓三郎
株式会社阪急百貨店 専務 村上 元吾
株式会社阪急百貨店 取締役 朝野 恒次郎
株式会社日立製作所 社長 駒井 健一郎
日立電線株式会社 社長 松浦 孝義
日立自動車株式会社 社長 松方 正信
日立造船株式会社 社長 永田 敬生
株式会社富士銀行 頭取 岩佐 凱実

富士重工業株式会社 社長 横田 信夫
古河鉱業株式会社 社長 横田 信夫
古河鉱業株式会社 常務 斉村 竜雄
古河電気工業株式会社 社長 植松 一
株式会社藤田組 社長 藤田 一
株式会社平和相互銀行 社長 小宮山 英蔵
本州製紙株式会社 社長 木下 又三郎
本田技研工業株式会社 社長 本田 宗一郎
丸善石油株式会社 社長 宮森 和夫
松下電器産業株式会社 常務 小川 鍛
株式会社松尾製作所 社長 松尾 久
株式会社マツダオート 社長 岩本 銀次
株式会社三井銀行 社長 田中 久兵衛
三井精機株式会社 社長 多羅尾 次郎
三井金属鉱業株式会社 社長 高林 敏巳
三菱重工業株式会社 社長 河野 克彦
三菱造船株式会社 社長 佐藤 尚
三菱商事株式会社 社長 庄 清彦
三菱地所株式会社 社長 渡辺 武次郎
三菱化成工業株式会社 社長 篠島 秀雄
三井三井銀行 社長 栗田 実
三井山崎株式会社 社長 栗田 実
三菱化成(株)黒崎 工場長 林 規
株式会社名鉄百貨店 社長 佐藤 英雄
株式会社明電舎 社長 重宗 昌幸
モロゾフ酒造株式会社 社長 源田 松三
八幡製鉄株式会社 社長 稲山 嘉寛
八幡製鉄(株)光製鉄所 社長 西郷 吉郎

八欧電機株式会社 社長 吉川 善左衛門
安田火災海上保険株式会社 社長 三好 武夫
安田生命保険相互会社 社長 竹村 吉衛門
山一証券株式会社 社長 山本 惠造
山一証券株式会社 社長 鈴木 高輝
横濱護謨製造株式会社 社長 中根 孝介
レナウン商事株式会社 社長 本間 良雄
ローヤルハム株式会社 社長 岡田 睦夫
雪印物産株式会社 社長 下斗米 安藏
若林電気株式会社 社長 若林 信太郎

大会顧問【後援・来賓関係】（順不同）

朝日新聞社企画総務 衣奈 多喜男
朝日新聞東京本社運動部長 高橋 富城
朝日新聞東京本社通信部長 岡田 録右エ門
全日本剣道連盟副会長 植竹 春彦
関東学校剣道連盟会長 岡本 昌智
全日本学校剣道連盟理事長 井上 正孝
日本武道館事務局 長 三浦 英夫
関東居合道研究会 長 吉田 一郎
全三 菱 武道会 会長 李家 孝茂
愛知剣連（中部実業団）理事長 森田 茂
近畿実業団剣道連盟理事長 西沢 袈裟人
九州実業団剣道連盟 会長 木村 恒正
九州実業団剣道連盟 会長 渡辺 憲三
九州実業団剣道連盟常任理事 二島 弥之助
本 武道振興会 会長 江上 俊郎

元全日本剣道連盟理事長 庄子 宗光
剣道 範士 十段 大松 勇次
剣道 範士 九段 宮崎 茂三郎
剣道 範士 九段 津崎 兼敬
剣道 範士 九段 佐藤 忠三
剣道 範士 九段 東山 健之助
剣道 範士 九段 白石 留彦
剣道 範士 九段 千頭 直明
剣道 範士 九段 岩越 正
剣道 範士 九段 三井 卯三郎
剣道 範士 九段 大森 小四郎
剣道 範士 九段 田中 知一
剣道 範士 九段 森田 文十郎
剣道 範士 九段 岸川 辰次
剣道 範士 九段 加藤 七左衛門
剣道 範士 九段 小城 満陸
全日本剣道連盟常任理事 斎藤 寛
全日本剣道連盟常任理事 小川 定胆
全日本剣道連盟常任理事 天野 武則
全日本剣道連盟常任理事 佐藤 京逸
全日本剣道連盟常任理事 伊藤 光三
全日本剣道連盟常任理事 滝沢 利章
全日本剣道連盟常任理事 笠原 高次
全日本剣道連盟常任理事 野村 覚治
全日本剣道連盟常任理事 館野 三藏
東京都剣道連盟副会長 佐藤 吾一
東京都剣道連盟副会長 指田 一

大会参与

【出場チーム剣道部長】（順不同）
【後援・来賓関係】

東京都剣道連盟常任理事 渡辺 敏雄
朝日生命保険相互会社研修所 岡本 正之助
旭化成工業株式会社 延岡 福美
RKB毎日放送株式会社 岸岡 繁雄
宇部興産株式会社 山本 茂
川崎製鉄株式会社 菊川 誠二
川崎製鉄株式会社 成川 重雄
鹿島建設株式会社 大井 良知
九州電力株式会社 樋口 一郎
菊水テーパー製造株式会社 大阪 本田 留五郎
小西酒造株式会社 本庄 勇
株式会社シモン本社 山田 敬一
住友金属株式会社 和歌山 山田 敬一
東洋レヨン株式会社 本社 桂 弘
東洋レヨン株式会社 愛知 清水 仙太郎
東芝電気株式会社 タービン 荻野 秀雄
東芝商事株式会社 工藤 能己
東京電力株式会社 群馬 今井 三郎
東京急行電鉄株式会社 橋本 惠
名古屋鉄道株式会社 杉山 孝雄
日本通運株式会社 本社 阿部 勇夫
日本軽金属株式会社 原田 修
日本タイアクリライト株式会社 篠原 範郎
日本鋳業株式会社 佐賀 関 藤武雄
日本鋳業株式会社 佐賀 関 藤武雄
日てい建設工業株式会社 上 藤 武司

株式会社西日本相互銀行 二島 弥之助
阪急百貨店株式会社 仲井 巖
株式会社日立製作所本社 厚母 太郎
日立電線株式会社 野沢 猛
株式会社平和相互銀行 大平 康
株式会社マツダオート名古屋 曾根 治雄
三菱化成工業株式会社 本社 竹内 六郎
三菱化成工業株式会社 黒崎 明石 春夫
安田生命保険相互会社 小甲 定吉
八幡製鉄株式会社 八幡 鍵山 通
八幡製鉄株式会社 光今 田 武
成和機械株式会社 鈴木 孝太郎
日本フルハーフ株式会社 瓜島 智道
STジョンソン株式会社 石田 茂夫
東京火災報知機株式会社 伊東 祐藏
三菱電気株式会社 松尾 博厚

大会委員

（順不同）

委員長 武藤 秀三
副委員長 谷本 和男

山本 欽次
佐々木 陽信
星野 一雄
松本 敏夫
桂本 弘
榎本 和男

総務委員

（進行は全日本学生剣道連盟の役員による）

審判団

審判顧問

審判長 近藤 盛二
審判主任 小越 秀之

審判員 〃 〃 〃
（順不同）

持田 盛二
村田 五郎
藤川 知善
野川 十吉
佐藤 卯吉
小沢 敬二
荒木 忠二
小川 忠二
高野 孫二
大野 操郎

小川 政夫
池田 岩
中野 八十
加藤 文一
玉利 嘉
小沢 武
梶川 鋭
佐藤 孝
井上 幾
鈴木 正
池田 太
池田 伯
佐伯 貞次
近藤 利雄
萩野 秀雄
森島 健男
湯野 正憲
針金 庸夫
内田 敏夫
吉田 次郎
大田 信次
村保 貞次
佐伯 太郎
池田 太
鈴木 幾
井上 正
井上 孝
鈴木 幾
池田 伯
佐伯 貞次
佐藤 利雄
中野 十吉
大野 卯吉
中野 敬二
左野 孫二
緒田 敏

栄冠を目ざし

鎬をけづる実業団の精鋭

36チームの横顔

平和相互銀行(巣鴨)

監督	道友	福山	清隆	45
大将	五段	浅野	裕	27
副将	四段	大古	誠一	24
中堅	五段	川瀬	能男	24
次鋒	五段	山崎	辰男	25
先鋒	四段	川上	一夫	23
補欠	三段	高梨	勝彦	19

川崎製鉄(本社)

監督	五段	永井	秋男	42
大将	五段	浜野	勉	41
副将	五段	阿久根	一八	37
中堅	四段	本惣	健彦	22
次鋒	三段	堀内	章	24
先鋒	三段	山崎	惠三	24
補欠	二段	古賀	武	19

西日本相互銀行(福岡)

監督	道友	藤井	勝	41
大将	四段	一力	修	23
副将	三段	加野	正	21
中堅	三段	簗田	良夫	20
次鋒	二段	大脇	三郎	19
先鋒	二段	淵上	克彦	19
補欠	二段	淵上	克彦	19

RKB毎日放送

監督	道友	岸岡	繁雄	44
大将	五段	豊里	弘	44
副将	四段	大内田	勉	50
中堅	四段	嘉村	良	44
次鋒	四段	石川	一	44
先鋒	五段	戸嶋	松雄	31
補欠	三段	市吉	康政	24

東京芝浦電気(タービン)

監督	三段	長谷部	真二	27
大将	四段	枝	英男	22
副将	三段	佐原	勇次郎	22
中堅	三段	石井	栄一	23
次鋒	三段	藤原	国弘	18
先鋒	三段	古賀	政彦	18
補欠	三段	沢田	君雄	18

旭化成(延岡)

監督	五段	手島	純一郎	28
大将	五段	手島	純一郎	28
副将	四段	樋田	基治	24
中堅	四段	酒井	建	25
次鋒	三段	吉村	明隆	18
先鋒	三段	木谷	哲郎	24
補欠	二段	満尾	久	18

日本通運(本社)

監督	道友	吉田	博三	27
大将	五段	土屋	征夫	26
副将	五段	矢上	徳	27
中堅	五段	奥村	金八郎	26
次鋒	五段	井出	高吉	23
先鋒	四段	関谷	力夫	22
補欠	五段	大津	隆彦	26

東洋レヨン(本店)

監督	四段	高山	正一	44
大将	五段	戸田	忠男	26
副将	五段	磯村	彰	29
中堅	三段	吉田	武司	22
次鋒	四段	佐々木	章	22
先鋒	三段	薩美	登喜男	21
補欠	初段	倉持	威	21

八幡製鉄(八幡)

監督	道友	坂口	松次	54
大将	五段	白井	士郎	25
副将	五段	神	民也	24
中堅	五段	中	孝文	23
次鋒	五段	篠崎	勇棧	22
先鋒	五段	石飛	征治	22
補欠	五段	川上	豊	24

日本ダイアクレバイト

監督	五段	原田	修	35
大将	五段	土門	俊和	25
副将	二段	藤崎	房雄	23
中堅	五段	弘光	英敬	23
次鋒	三段	桑山	幸男	18
先鋒	五段	紺野	和明	24
補欠	初段	町田	光雄	26

日本鉱業(佐賀関)

監督	道友	藤田	武雄	51
大将	三段	坂井	敬之助	28
副将	五段	森下	竜生	26
中堅	三段	萱島	喜一	23
次鋒	三段	重岡	昌彦	19
先鋒	三段	上坂	善二	22
補欠	五段	吉村	健一	35

名古屋鉄道

監督	五段	杉山	孝雄	38
大将	五段	細田	律郎	24
副将	四段	戸川	恵司	23
中堅	五段	岡本	政行	23
次鋒	五段	山瀬	弘	25
先鋒	四段	重岡	昂	22
補欠	三段	長高	洋一郎	21

日立電線

監督	道友	羽賀	幸雄	62
大将	五段	羽賀	紀正	23
副将	四段	木村	耕一	25
中堅	四段	山本	光司	21
次鋒	三段	安斉	利恵	19
先鋒	三段	宮川	茂	19
補欠	四段	福田	信行	23

東京急行

監督	三段	毛利	昭	36
大将	三段	久保	薫志	21
副将	三段	倉持	秀夫	21
中堅	三段	矢笠	岩根	21
次鋒	三段	本郷	軍一	21
先鋒	三段	小池	士郎	21
補欠	三段	岡崎	政義	21

菊水テンプ(大阪)

監督	道友	本田	留五郎	54
大将	五段	神田	正明	27
副将	四段	村井	賢一	24
中堅	五段	伊夫伎	弘一	25
次鋒	五段	澄川	純一	25
先鋒	三段	楠本	旭	21
補欠	二段	山根	秀雄	21

九州電力

監督	道友	山本	太一郎	47
大将	五段	田中	照男	36
副将	五段	水江	利一	39
中堅	五段	城戸	登史郎	38
次鋒	三段	山下	逸郎	22
先鋒	四段	大庭	南海男	21
補欠	三段	柳田	清文	24

鹿島建設

監督	道友	村上	鉄二	43
大将	四段	島田	紀久	25
副将	五段	小椋	紀久	25
中堅	五段	恩田	四郎	26
次鋒	四段	土田	博昭	23
先鋒	四段	早川	康彦	26
補欠	五段	菊井	美堯	25

川鉄建材

監督	吉村	清
大将	松田	睦男
副将	杉山	里美
中堅	難波	明治
次鋒	小倉	正幸
先鋒	中尾	純三
補欠	馬場	信介
		23
		25
		25
		25
		24
		25
		27

東洋レヨン(愛知)

監督	道友	近藤	常郎	37
大将	五段	犬飼	忠男	28
副将	四段	鈴木	大丈	27
中堅	三段	岩崎	克己	24
次鋒	三段	石川	光義	22
先鋒	三段	岩崎	日出男	23
補欠	二段	清水	朝男	24

小西酒造(本社)

監督	五段	白井	靖夫	25
大将	五段	宮崎	正睦	25
副将	五段	立花	芳利	27
中堅	五段	花崎	杉男	26
次鋒	四段	谷江	均	23
先鋒	三段	福田	正人	18
補欠	四段	藤原	俊機	21

東芝商事

監督	五段	野本	寿	46
大将	五段	伊藤	隆幸	30
副将	五段	工藤	能己	43
中堅	五段	大塚	公彦	24
次鋒	五段	熊岡	祥雄	22
先鋒	三段	江川	辰男	22
補欠	三段	小畑	満	22

宇部興産

監督	道友	山本	茂	45
大将	五段	島津	静治	25
副将	五段	平岡	定夫	27
中堅	五段	中野	浩甫	26
次鋒	四段	竹下	邦夫	24
先鋒	三段	亀永	芳夫	19
補欠	三段	石川	雄啓	20

朝日生命(研修所)

監督	道友	森山	亮佑	48
大将	五段	酒井	守男	27
副将	五段	鎌田	吉郎	27
中堅	五段	浜島	俊男	23
次鋒	三段	岩崎	康	24
先鋒	三段	鈴木	隆	21
補欠	四段	大家	伸夫	26

三菱化成(黒崎)

監督	道友	嶽崎	操	47
大将	四段	村山	正佳	25
副将	三段	橋田	邦康	23
中堅	二段	大浜	武松	19
次鋒	二段	日高	栄治	18
先鋒	初段	広瀬	次松	17
補欠	三段	倉岡	達也	21

シモン(本社)

監督	道友	照井	寅雄	40
大将	五段	洋谷	日出男	25
副将	五段	田口	安夫	25
中堅	四段	伊東	正顕	22
次鋒	五段	馬場	茂雄	25
先鋒	四段	山田	元輝	23
補欠	四段	山田	元輝	23

八幡製鉄(光)

監督	道友	河野	蒸	42
大将	四段	和泉	完二	23
副将	五段	和泉	猛	27
中堅	五段	岡本	淳	24
次鋒	四段	大末	芳洋	22
先鋒	四段	成田	勝利	21
補欠	五段	仲村	文明	27

日本軽金属

監督	五段	六角	隆一	39
大将	四段	岡野	忠夫	23
副将	五段	和田	紘正	24
中堅	五段	中倉	英時	22
次鋒	五段	嶽下	武昭	22
先鋒	四段	山本	哲也	22
補欠	五段	仁多見	一彦	46

第八回全日本実業団剣道大会

団体対抗組合せ

1 試合場	平和相互(巢鴨)	1	優 勝	19 東洋レーヨン(愛知)	3 試合場
	川崎製鉄(本社)	2		20 小西酒造(本社)	
	西日本相互(福岡)	3		21 東芝商事	
	RKB毎日放送	4		22 宇部興産	
	東芝電気(タービン)	5		23 朝日生命(研修所)	
	旭化成(延岡)	6		24 三菱化成(黒崎)	
	日本通運(本社)	7		25 シモン(本社)	
	東洋レーヨン(本店)	8		26 八幡製鉄(光)	
	八幡製鉄(八幡)	9		27 日本軽金属	
2 試合場	日本ダイアクレバイト	10	戦	28 阪急百貨店	4 試合場
	日本鉱業(佐賀関)	11		29 東京電力(群馬)	
	名古屋鉄道	12		30 マツダオート(名古屋)	
	日立電線	13		31 日立製作所(本社)	
	東京急行	14		32 住友金属(和歌山)	
	菊水テープ(大阪)	15		33 安田生命(本社)	
	九州電力	16		34 日本耐酸壘	
	鹿島建設	17		35 三菱化成(本社)	
	川鉄建材	18		36 西日本相互(本店)	

日本耐酸壘						日立製作所(本社)						阪急百貨店					
監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒	監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒	監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒
清水	高橋	藤原	飯塚	洞谷	永沢	厚母	西村	渡辺	橋本	青木	久保	坪川	石井	中野	高橋	三輪	岸部
晴次	武司	正道	文雄	公正	允雄	肇	正生	良春	謙明	次保	昭一	正義	武次	敬明	周明	浩三	弘一
42	25	27	23	23	24	30	26	21	26	22	20	46	30	25	23	24	29
三菱化成(本社)						住友金属(和歌山)						東京電力(群馬)					
監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒	監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒	監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒
桜庭	橋本	斎藤	小杉	熊木	栗田	湯浅	太田	玉井	中野	上野	則本	小飯塚	小沢	倉賀野	須藤	岡本	菊池
庄市	文行	親広	信太郎	誠治	次男	富夫	行俊	順治	友弘	智宏	克視	富雄	廣博	孝雄	武嘉	武雄	相見
43	28	26	27	23	19	41	26	23	26	18	20	48	24	22	22	21	40
西日本相互銀行(本店)						安田生命(本社)						マツダオート(名古屋)					
監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒	監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒	監督	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒
松下	池田	藤多	野村	池田	案浦	小甲	竹中	新井	岩本	寺本	近藤	石川	伊奈	桜井	小島	小林	西川
健二	靖美	敦志	廣勝	敏基	良彦	主也	夫弘	敏彦	仁弘	良彦	三枝	貞一郎	治弘	敏弘	吉弘	登喜男	功一
50	23	27	24	24	29	48	22	23	24	25	21	23	23	19	19	19	19

優美にして堅牢きつとお気に召す

株式会社 剣道具

彌

松興堂

取締役社長 松本 弥一

東京都渋谷区本町五丁目四十一番地
振替口座 東京 八九六八一 番
取引銀行 第一銀行新宿西口支店
第一信託銀行笹塚支店
電話(三六)四四七一〜三番

ご一報次第カタログ贈呈

50年の伝統と信用を誇る
剣道具界の王座

松勘

MATSUKAN
社会式株業工勘松

取締役社長 松本 寛

本社 埼玉県加須市礼羽二八八番地
(電話カソ) (三三) (営業所) (三三) (工場)

東京支店 取引銀行 埼玉銀行加須支店
小売店 電話(八四)二四二六
電話(八四)二四二六

第一回配本 唐詩選上 高木正一 〔発売中〕



日本人の心のふるさと——人類永遠の
古典を辞書なしで味わえる完璧の選集

監修 吉川幸次郎
全二十卷
20日発売 毎月一冊

監修 吉川幸次郎
全二十巻
毎月一冊
20日発売

珠玉の全20巻・逐次刊行

易論語(上) 論語(下) 大學・中庸 孟子(上) 孟子(下) 莊子(內篇) 莊子(外篇) 莊子(雜篇) 古詩選 唐詩選(上) 唐詩選(下) 宋詩選 史記(春秋戰國) 史記(楚漢) 史記(漢武) 三體詩(上) 三體詩(下) 唐宋八家文(上) 唐宋八家文(下) 各B6判・箱入上製本 定価各巻六五〇円

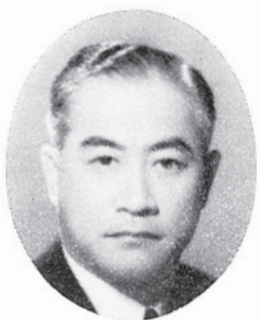
朝日新聞社

第1回	於 東京都中央道場 優勝 東洋レーヨン名古屋	二位 三井金属三池	三位 旭化成延岡 日本通運
第2回	於 大阪市立体育館 優勝 東洋レーヨン名古屋	二位 九州電力	三位 平和相互銀行(巢鴨) 西日本相互銀行
第3回	於 名古屋金山体育館 優勝 東洋レーヨン愛知	二位 東洋レーヨン滋賀	三位 百貨店東横 川鉄商事
第4回	於 東京都日大講堂 優勝 東洋レーヨン滋賀	二位 平和相互(巢鴨)	三位 百貨店東横 東洋レーヨン(名古屋)
第5回	於 大阪市立体育館 優勝 東洋レーヨン愛知	二位 東洋レーヨン滋賀	三位 東横 P.L.ゴルフ
第6回	於 東京都日大講堂 優勝 東洋レーヨン愛知	二位 東洋レーヨン名古屋	三位 朝日生命研修所 宇部興産
第7回	於 日本武道館 優勝 東洋レーヨン愛知	二位 東洋レーヨン滋賀	三位 朝日生命研修所 東洋レーヨン(三島)
第8回	於 日本武道館 優勝	二位	三位

MEMO



刀剣展示室 常時、名刀優品並に小道具が百数点陳列されて居る。



御挨拶

戦後二十年を経過した今日、日本刀に対する一般の関心が再び興りつつあります。刀剣の展示会も各方面で催され、本館所蔵品もその御要望に応じて出品していますが、展示期間に限られ、また御愛好家だけに片寄っている嫌いがあります。

当館ではまず刀剣を知るために必要な基礎資料を御覧戴き、ついで年代順に配列して鑑賞して戴くように工夫し、また御希望の時に御参観を戴けるように常設館といたしました。従って愛好家はもとより初歩の方々、青少年の方にも十分に刀剣を理解し鑑賞して戴くことが出来るものと信じます。

皆様の御子弟が貴重な文化遺産である名刀の鑑賞により日本人としての精神的内容を高められ、また日常御多忙の皆様が心を高遠なる境地におかれ、その憩いを求められる場となれば館長の多年の宿願もかなえられたものというべく喜びこれに過ぎるものではありません。当館を交通便利なところに設けましたのもこれがためであり、随時陳列がえをいたしますから今後とも気軽なお気持ちで御来館賜らんことをお願い申し上げます。

昭和四十年十一月十四日

日本刀美術館

館長 塚本 素山

東京都中央区銀座西四丁目三番地
塚本素山ビル四階
電話(535)三二二(代)・三〇二六(直)

開館………毎日午前十時より午後六時まで
休館………毎週月曜日。なお日曜・祭日も開館致しております

十年一日のごとく 堅実な奉仕をつづける 田村のおやじの店

各大学・警視庁・実業団 御指定

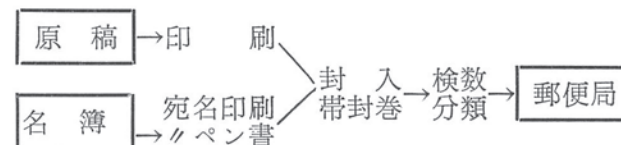
有限会社 田村剣道具店

代表者 田村 金三郎
東京都品川区大崎中丸442番地
電話 大崎 5443・9365 番
(国電・目黒駅下車)

印刷 刷 刷 刷
印 一 刷 刷
プ 刷 刷 刷
イ 刷 刷 刷
タ 宛 宛 宛
宛 宛 宛 宛

印刷から郵便局まで

の御用は



山 洋 事 務 器

中野区昭和通3-37 電話(385)8922

優秀な剣道具は



東京・大野屋製

日本信販
加盟店

先生も・先輩も・君も・私も
大野屋製の愛用者



株式会社
大野屋

新宿区下宮比町二番地 国電飯田橋(東口)下車
電話 269-0696~7 第一銀行飯田橋支店隣

全日本実業団剣道大会 道友手合せ番付表

8	7	6	5	4	3	2	1	
近利	後大	桜山	山下	市谷	岡矢	吉本	野中	
藤岡	藤平	庭本	本重	川口	本野	田莊	正根	
常和	義雄	庄茂	昌一	嘉宏	正之助	次郎	豊平	
郎人	康	市茂	弘	一雄	裕	勇	稔治	

(A 会場)

8	7	6	5	4	3	2	1	
松吉	山西	岸桂	福小	佐島	多川	柿土	針梶	
本田	田沢	岡	山柳	伯田	田上	内井	金川	
精博	好袈	繁	清喜	太喜	禎峻	哲秀	庸	
一三	数人	雄弘	隆郎	郎郎	作司	夫夫	夫巖	
49	27	44	44	49	44	52	53	
島津	日本	朝日	千代田	八幡	旭大	東京	三井	
製作	通運	生命	相互	製鉄	日本	電力	井山	
所		本社	(板橋)	材	成	大阪	(田川)	

(A 会場)

8	7	6	5	4	3	2	1	
吉島	土桂	佐岸	山針	小柿	西松	多福	梶川	
田田	井秀	伯岡	田金	柳内	沢本	田山	川上	
博喜	夫弘	太繁	好庸	喜哲	袈精	禎清	峻司	
三郎	郎	郎雄	数夫	三郎	一人	隆	巖	

(B 会場)

8	7	6	5	4	3	2	1	
下谷	近大	後桜	中利	山矢	岡野	市本	山吉	
重口	藤平	藤庭	根岡	本野	本正	川莊	本田	
昌宏	常	義庄	平和	裕	正之助	嘉	次郎	
弘雄	郎康	雄市	治人	一裕	稔	一勇	茂郎	
41	47	47	47	48	57	46	45	
三井	阪急	朝日	九州	東芝	朝日	南光	三菱	
精機	百貨	石綿	電力	タビ	生命	特殊	化成	
	店	本社		ビン	(研修所)	印刷	(黒崎)	

(B 会場)

※ 欠席者偶数のときは相手方同士を組合せる
欠席者奇数のときは三度手合せを願う場合がある